品質による信頼性の向上・お客様への貢献

新光電気グループは、SHINKO Wayの企業理念に「技術力」「ものづくり」を掲げ、品質によりお客様と社会の信頼を支えることを企業指針としています。さらに、お客様起点で考え、誠意をもって行動することを、行動指針としています。当社グループでは、ものづくりにおいて業界一、世界一の品質を目指し、お客様の期待に応える優れた製品の開発・製造に注力してまいりました。私たちは、発想と行動の原点を常にお客様に置き、お客様の成功に貢献し、ともに成長し、世界中のお客様から信頼されるビジネスパートナーとなることを目指しています。

品質でお客様と社会の信頼を支える

新光電気グループは、ものづくりを通じて社会の発展、人々の豊かな暮らしに貢献するとともに、お客様にご満足いただき、信頼していただける製品をご提供することを目指しています。当社グループは、品質を事業活動の根幹に関わる事項としてとらえ、その維持・向上に日々たゆまず取り組みます。

品質方針

私たちは「品質方針」に基づき、価値の高い製品とサービスで、お客様と社会から信頼される企業であり続けます。

品 質 方 針

新光電気工業グループは、SHINKO Wayの企業理念に基づき、品質でお客様と社会の信頼を支え、お客様が期待するレベルの製品とサービスを誠実に提供する企業であり続けます。
これを達成するため、全社員が次の指針で行動します。

【 行動指針 】

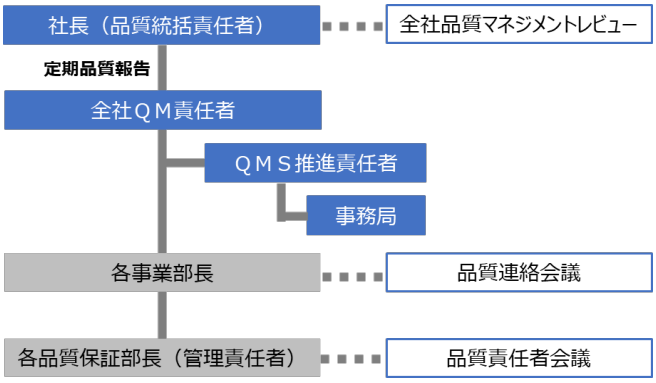
1. お客様第一優先に徹した品質追求
2. 変化を先取りした品質づくり
3. 社会的責任を果たす品質の確保
4. 五ゲン主義（現場、現物、現実、原理、原則）による継続的な品質改善
5. 品質を考える人づくり

新光電気工業株式会社
代表取締役社長

品質マネジメント体制

代表取締役社長が品質統括責任者を務め、品質マネジメント体制のもと、内部品質監査および全社品質マネジメントレビューを年2回行い、マネジメントシステムがISO/IATF規格要求事項に適合しているか、マネジメントシステムが有効に機能しているか確認し、継続的な品質改善に取り組み、品質問題の未然防止に努めています。

＜品質マネジメント体制＞



品質マインドの醸成

全社員の品質コンプライアンスに対するマインドの醸成と定着を目的とし、毎年11月の『品質月間（日本科学技術連盟・日本規格協会・日本生産性本部などが主催）』にあわせ、『品質コンプライアンス教育』を実施しています。
さらに、2024年から『品質マインド定着教育』を実施し、品質マインドの浸透、定着をはかっています。この教育は、短時間で受講できる当社独自の動画教材を作成し、全社員が繰り返し受講することで、自らの行動を見つめ直し、心に問う機会としています。
こうした施策を通じて、当社では、お客様に提出するデータも製品・サービスの一部として品質重視の視点に立ち、ものづくりに携わる社員が一丸となって品質コンプライアンス問題に向き合うための取り組みを継続的に行っています。

2024年度　品質コンプライアンスに関する教育実績［新光電気グループ（国内）］

研修名	受講者数
品質コンプライアンス教育	5,319人

今後も品質コンプライアンス教育や品質マインド定着教育を通じ、お客様から信頼されている重みを全社員に再確認する機会を提供し、当社の大切な製品とサービスを安心・安全・誠実に届け続けていけるように取り組んでまいります。

品質マネジメントシステム認証取得

新光電気グループは、当社グループの製品をお客様が安心して採用いただけるよう、積極的な品質マネジメントシステムの認証取得に取り組んでいます。品質マネジメントシステムの国際規格であるISO 9001については海外を含むすべての製造拠点で認証を取得しています。また近年、市場のニーズ拡大が期待される車載製品に対しては、自動車産業向けの品質マネジメントシステム国際規格であるIATF 16949の認証取得品種の拡大を進めています。

品質マネジメントシステム認証取得状況

展示会への出展

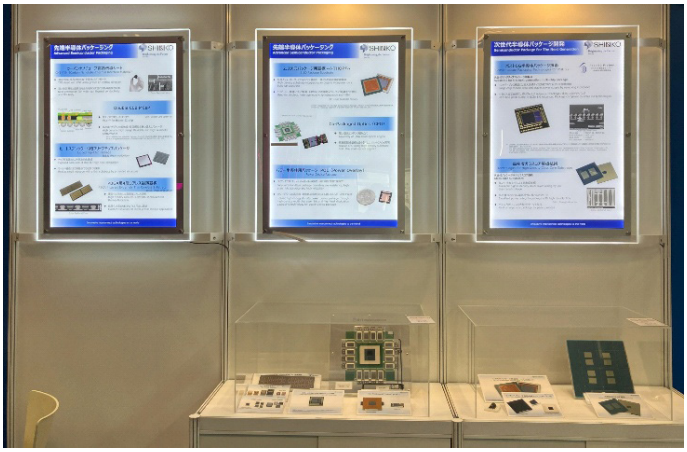
当社は、お客様に当社の高い技術力を知っていただくとともに、より社会に価値を提供できる製品を開発するために、お客様や市場のニーズを把握すべく、展示会に継続的に出展しています。2024年度は、開発中の製品を中心に、以下の展示会への出展を実施しました。

No.	日時	展示会名	出展製品
①	2024年7月12日	第2回 産学みらいフォーラム	シミュレーション技術・材料開発紹介 2.3次元パッケージ用基板(i-THOP®※) パワー半導体用パッケージ(POL) 光電融合パッケージ ガラスコア基板
②	2024年11月13日 ～11月15日	第13回 IEEE CPMT Symposium Japan	2.3次元パッケージ用基板(i-THOP®) パワー半導体用パッケージ(POL) 光電融合パッケージ ガラスコア基板
③	2024年12月11日 ～12月13日	APCS（Advanced Packaging and Chiplet Summit）2024	2.3次元パッケージ用基板(i-THOP®) パワー半導体用パッケージ(POL) 光電融合パッケージ ガラスコア基板 カーボンナノチューブ高熱伝導シート　他

※ i-THOPは当社の登録商標です。
（注）いずれも開発中の製品

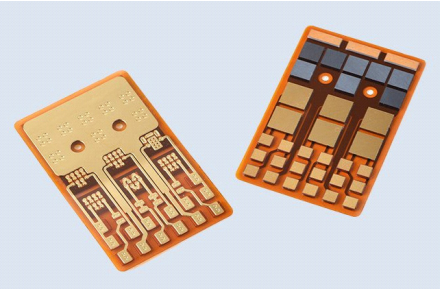
【展示会出展の様子】

APCS2024

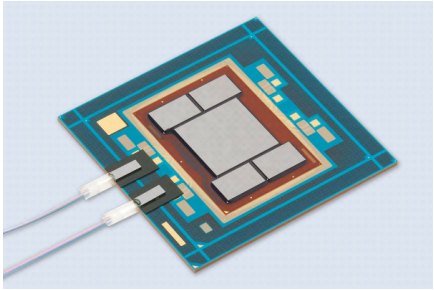


【出展製品の紹介（一部）】

パワー半導体用パッケージ（POL）



光電融合パッケージ



高効率な電力変換を実現できるパワー半導体用パッケージ（POL）は、電気自動車などへの利用が見込まれます。また、低消費電力な高速通信を実現する光電融合パッケージは、データセンターで使用される通信機器やサーバー等への利用が期待できます。当社は、これらの製品により、半導体の高機能化・高速化と省電力化に貢献し、豊かで持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

お客様への対応

新型コロナウイルスの感染拡大を機に各国、お客様においては働き方改革が浸透しリモートワーク等での対応が定着しつつあります。当社ではお客様のワークケースに応じた臨機応変な手段でコミュニケーションの強化をはかり、ご要望にお応えしています。さらには新型コロナウイルス感染症に限らず、昨今における大規模自然災害等の発生、パンデミックにも備えるべく、BCM（Business Continuity Management）のさらなる強化をはかり、事業の継続とお客様への供給不安の回避にむけた取り組みをお客様とともに進めてまいります。

安全と信頼への取り組み

安全保障輸出管理について

当社は、安全保障貿易管理関係法令を遵守し、違反を未然に防ぐための内部規程「安全保障輸出管理規程」を制定し、適切な安全保障輸出管理を実施しています。また、新入社員や新任管理職、輸出製品に携わる社員への定期的な教育を通じ、法令遵守の意識を高めています。
なお、海外製造子会社も管理対象としており、同様の教育を実施しています。

AEO事業者認定

AEO（Authorized Economic Operator）制度とは各国税関が連携した世界の枠組みです。この制度の認定を取得することにより、輸出品を扱う企業としての信頼性向上と迅速な通関手続きが可能となっています。
当社は、AEO事業者として2008年に認定を取得しています。